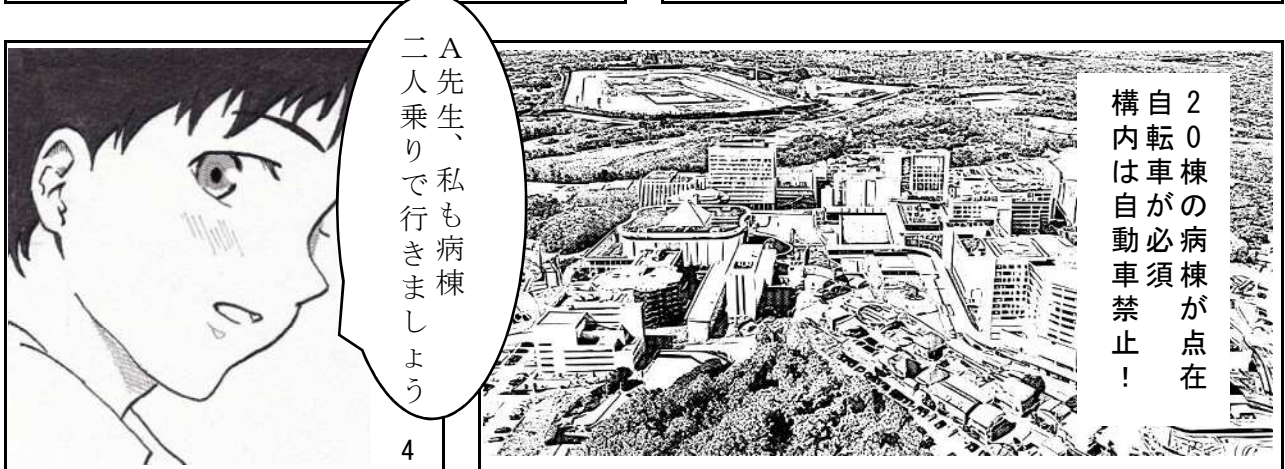


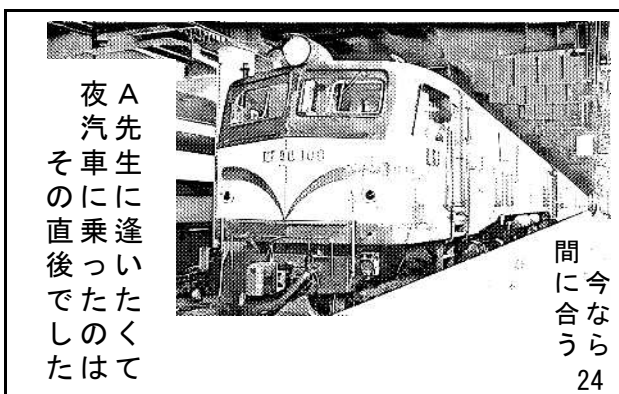
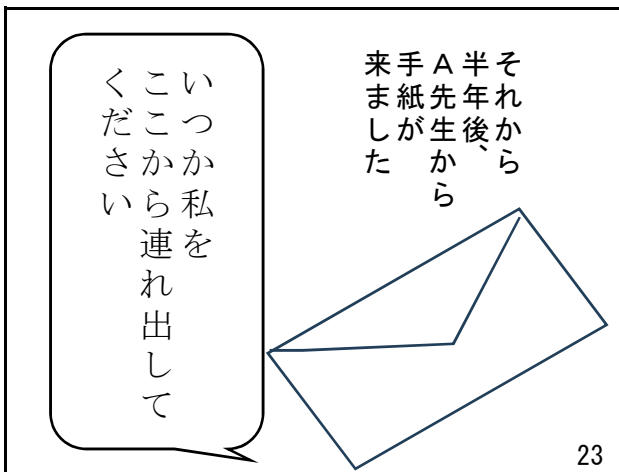
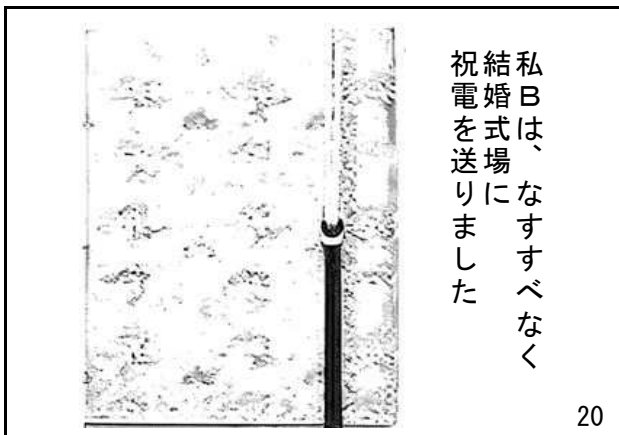
いつか私を、ここから連れ出して



いつか私を、ここから連れ出して



いつか私を、ここから連れ出して





A New Departure at the Station of Hope



ここがAクリニックか

隣の保育園の病児保育
しているんだ

病児保育室
A
キッズ





えー、元気して
ますよ！



あつ

紹介します
Y事務部長です

クリニックの経営
全部任せています



こんにちはYです
B先生のお話は
伺っています

病児保育のニーズ…
あるんですけど
クリニック経営が
厳しくて…



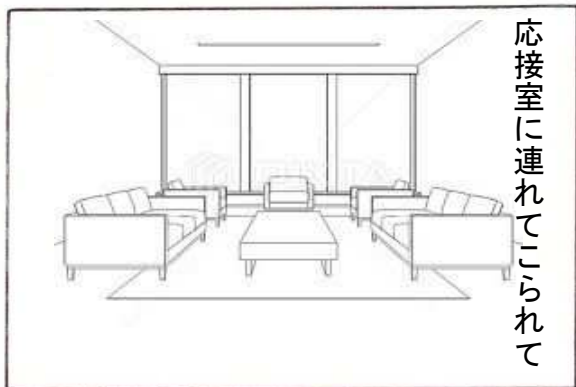
この前もA先生と
ケンカしたばかりなんです

A先生、お願いします
今日は仕事休めないんです

はっ



田舎でも共働きは当たり前



でもB先生が私を忘れて
なくて良かったです



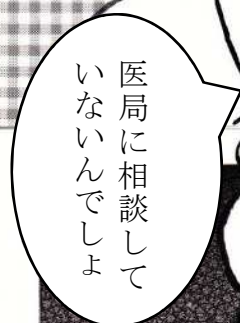
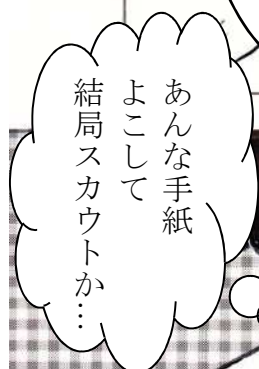
病児保育のニーズはあるんです
でもハズは理想主義者で...

赤字解消のためのアルバイト
潰けなんです



こちらに転職しろという
ことですよね







わーい



子供たちの声が応接室まで
聞こえてきます

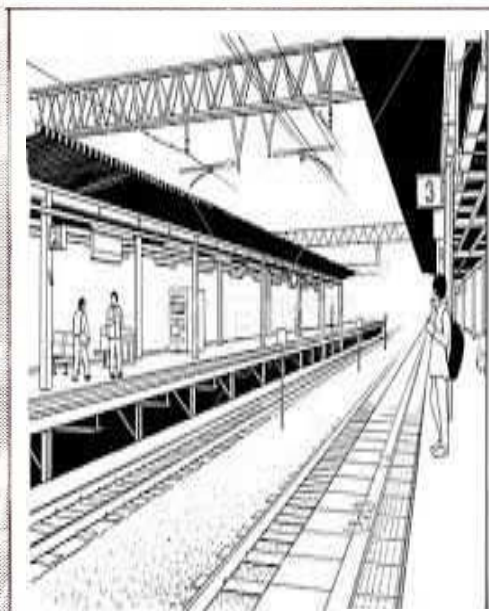




違います、楽しいです
破局的な経営環境から連れ出して欲しかったんです



A先生はここから脱出
したいと思ったんですが



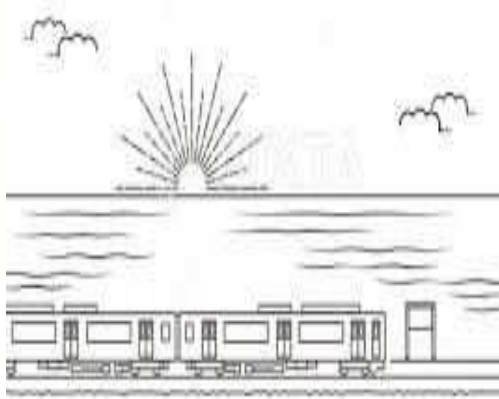
またとんぼ返りか…



お待ちして
います

A先生と仕事したいし

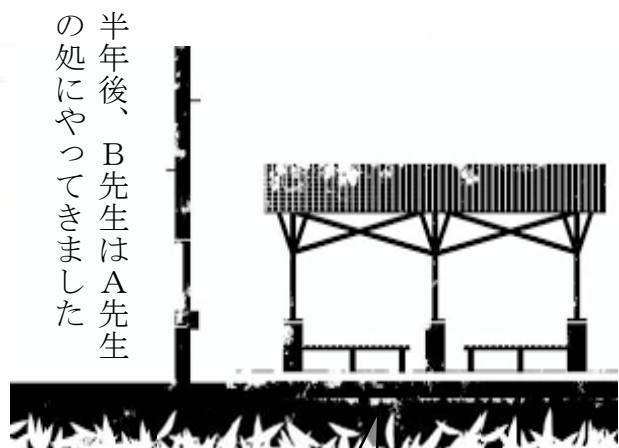
Yさんは魅力的だから
良い選択かな





是非とも！





編集後記

「いつか私を、ここから連れ出して,20250407」の続編を描くことにしました。恋物語を「連れ出して…」の理由にするつもりだったのですが、過重労働を回避したいに変えました。こちらの問題の方があつたと思ひます。目を瞑っていることも多い問題なんですよね。理想では生きていません。ビジネスにするにはセンスが不可避です。山田悠史先生のエビデンスに接して、A先生の「連れ出して…」の理由を「赤字補填のための過重労働」や「理想主義の夫(ハスラー)との生活」というストレスからの回避とし、更にY事務長の登場とB先生の心の動きは、物語に「医学的・生物学的な妥当性」という裏付けを与えることにしました。

A先生のハズは、あえて登場させませんでした。どのような人物にしても男性二人が登場すると、争いになると予想されますので。

そしてテーマソング着けました。竹内まりやさんの「駅」です。夜行列車であつたり、始発・週末にはピッタリだと編集を一任している **Gemini** さんに推奨されました。

資料

山崎洋式; いつか私を、ここから連れ出して,20250407

冬の旅;いつか私を、ここから連れ出して 想ひ人の SOS,m3,20241128

山田悠史;身近な人間関係のストレスが、あなたの「老化」を早めているかもしれないという話,CareNet,20260319